

立春を過ぎ、3年生は自宅学習期間に入りました。

事実上2年生が最上級生となり、いよいよ自分たちが進路を選択する年度を迎えます。大事なことは、行きたい会社や学校を希望しても、基礎学力が身に付いていないと進路が実現できない場合があるということです。3年生になるとみんな必死に進路対策に取り組むので、この3学期を「高校3年生の0（ゼロ）学期」として早めに取り組んだ人ほど後で大きな差になって表れます。今、真剣に自分の進むべき道を考えて受験先を調べておくことです。

1年生は中堅学年としての自覚と行動が求められる年度を迎えます。上級生が一生懸命取り組んできた姿を参考にしながら真の鹿工生として更なる高みを目指して精進してください。そのためには、まず進級する系の学習の基礎となる今の授業全てに意欲を持って取り組むことです。その結果次第でこの学期までの頑張りを含めた高校で初めての「評定」が決まります。将来の進路選択に大きく関わるものなので、良い成績をあげられるよう常に意識してしっかり取り組んでください。

今年度の受験報告書より～後輩へのメッセージ～

(就職編)

◎一般常識・適性検査に関して

- ・SPIは企業側の用意した電卓を使用した。
- ・過去の前輩方の受験報告書を見てしっかり対策する。
- ・SPI3は早期対策が肝心。私は4冊を2周解いた。
- ・損益算、推論、確率、速さは出題されることが多いのでしっかりと対策をしておこう。
- ・SPIは分かる問題からはやく、正確に解けるようにする。分からない問題は飛ばす。
- ・SPI3で、焦りで見開き1ページを飛ばしてしまっただけでマークシートがズレてしまった。
- ・SPIの非言語は学校で配られるSPI対策問題集で対応できる。言語はいろんな単語を知っておいた方がいいのでテキストを買うとよい。
- ・SPI3-Hの言語分野は30分で50問、非言語分野は40分で40問だったので時間配分に気を付ける。1問につき30秒で解く練習をする。
- ・筆記試験は言語、非言語どちらも問題が多いので、広い範囲、多くの問題を早く解く練習をしておいた方がよい。日頃から時間を測りながら勉強する。
- ・SPIはWebテスト対策用のテキストを買い、対策アプリを入れて勉強する。解答時間が非常に短いため、普段から解くスピードを意識する。
- ・SPI、適性検査、TAL（簡単な図形の貼り付け）はパソコンで行われるので、日頃から利用し慣れておく。TAL対策はインターネットで調べれば同じような問題と解説が出てくる。

◎作文・面接に関して

- ・作文は過去のテーマをしっかりと練習しておく。
- ・鹿児島のPRという予想外の質問が最後にきた。
- ・面接は相手の目を見てしっかりとハキハキ話す。
- ・グループワークは、何か一つでも役割を引き受ける。
- ・面接官の質問をしっかりと聞き、質問の意図を読み取り答える。
- ・履歴書や調査書を見ながら、気になったことに対して質問してくる。
- ・和やかな雰囲気での面接であったが、言葉遣いが崩れないように注意した。
- ・面接練習は、先生に頼んでかなり深くつっこんでもらえるようお願いする。
- ・マスクを外し、フェイスシールドを着用して行われたため、表情が見られた。
- ・面接練習は多くの先生にお願いして、場に慣れるようにする。また、自分の強みを主張できるようにする。
- ・事前に会社の事を深く調べて志望動機に入れ込むと質問される可能性が高いので、その時に「私はこれだけ御社を知ってます！」とアピールできる。
- ・面接は、学校生活で頑張ったことや仕事について深掘りをされるので、学校生活や部活動で頑張ったことと大変だったことを整理しておく。またHPを見て企業理解を深める。



(進学編)

◎学力試験に関して

- ・教科書の内容をしっかりと理解しておく。
- ・集合は会場入室時間の1時間前くらいが良い。
- ・e-ラーニングをできるだけ早く終わらせ、CBTテストに取り組む。
- ・教科書をしっかりと復習し、入試問題をまとめた参考書を必ず解いておく。
- ・マークシートに鉛筆しか使えない場合がある。
- ・主に出題されたのが数Ⅲ・数B・数Ⅱなので、この3つはしっかりと勉強しておく。
- ・電気基礎から出題されると思っていたが電気機器の分野が出題された。どこかに限定するのではなく広い範囲を勉強した方が良かったと思った。

◎小論文・作文に関して

- ・試験会場に時計が設置されていなかったのを腕時計を忘れないようにする。
- ・小論文は最初は全く書けなくて不安でしょうが、絶対書けるようになります。サイト、youtube、先生のご指導等からコツを習得してください。
- ・小論文は90分で書けるようにする。多くの過去問をしておく。下書きも提出するようになっていたので、下書きの時間と使い方も練習していた。

◎面接・口頭試問に関して

- ・オープンキャンパスはできるだけ早めに行った方がいい。
- ・アドミSSIONALポリシーはしっかりと目を通し覚えておく。
- ・面接は実際の形式で練習しておく、落ち着いて受け答えができる。
- ・オンライン面接では、接続確認とID・パスワードの照合をしておく。
- ・面接は、相手の目を見て自信を持って大きな声で言えるようになるまで練習する。
- ・面接は回数を重ね、しっかり練習しておく。具体的な答えを全ての質問に求めてくる。
- ・みんな何かしらの強みを話に入れているので誰にも負けないような強みがあるといい。
- ・その学科で学びたいこと(興味のある学科の授業)や将来どのような仕事に就きたいか考えておく。
- ・質問と少し異なった回答をすると再度聞かれるため、質問の意図をしっかりと考え、正確に回答する。
- ・自分だけではなく、他の人も緊張しているのであまり深く考えず、できるだけリラックスして練習通りにすれば必ずできる。

学年末考査へ向けて～次の学年で良いスタートを切るために

1・2年生は17日(金)から学年末考査が始まります。この学年の最後の定期考査は1年間のまとめとして、今までの努力の成果でどれだけ自分がレベルアップしているかを判定できる大変重要なものです。

就職したい会社があって求人票が出されても、その会社が求めるレベルに達していなければ受験することさえできません。進学も同様です。

定期考査は普段の授業をしっかりと受け、復習しているかを確認するための問題です。高校における学習内容が身に付いているかどうかをみるため「健康診断」のようなものです。まったく勉強もせずテストを受けて結果だけみても、それは「運試し」と同じです。たとえ、たまたまヤマがあたって点数だけとれたとしても、実力が付いていなければいずれ大きな失敗につながるでしょう。学年の締めくくりとして、次の学年に良いスタートが切れるようにしっかりと復習してテストに臨みましょう。

もちろん、提出物などをしっかりと済ませておくことも大事なとは言ってもありません。

